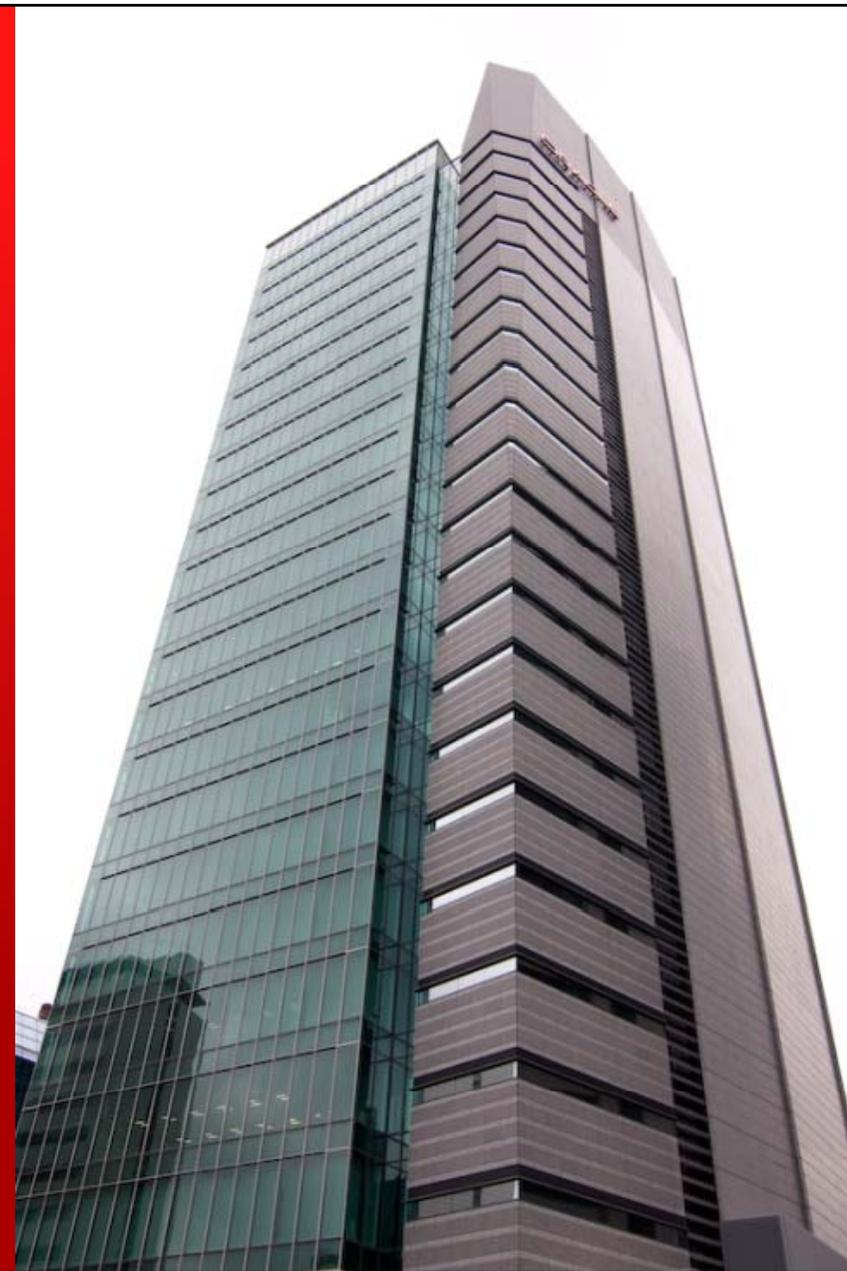


ORACLE®

ORACLE®

2013年5月期 決算説明会

日本オラクル株式会社
2013年6月27日



以下の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

本資料に含まれている業績予想等、歴史的事実以外の事象については、本資料の発表日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき日本オラクル株式会社が策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

ORACLE

Program Agenda

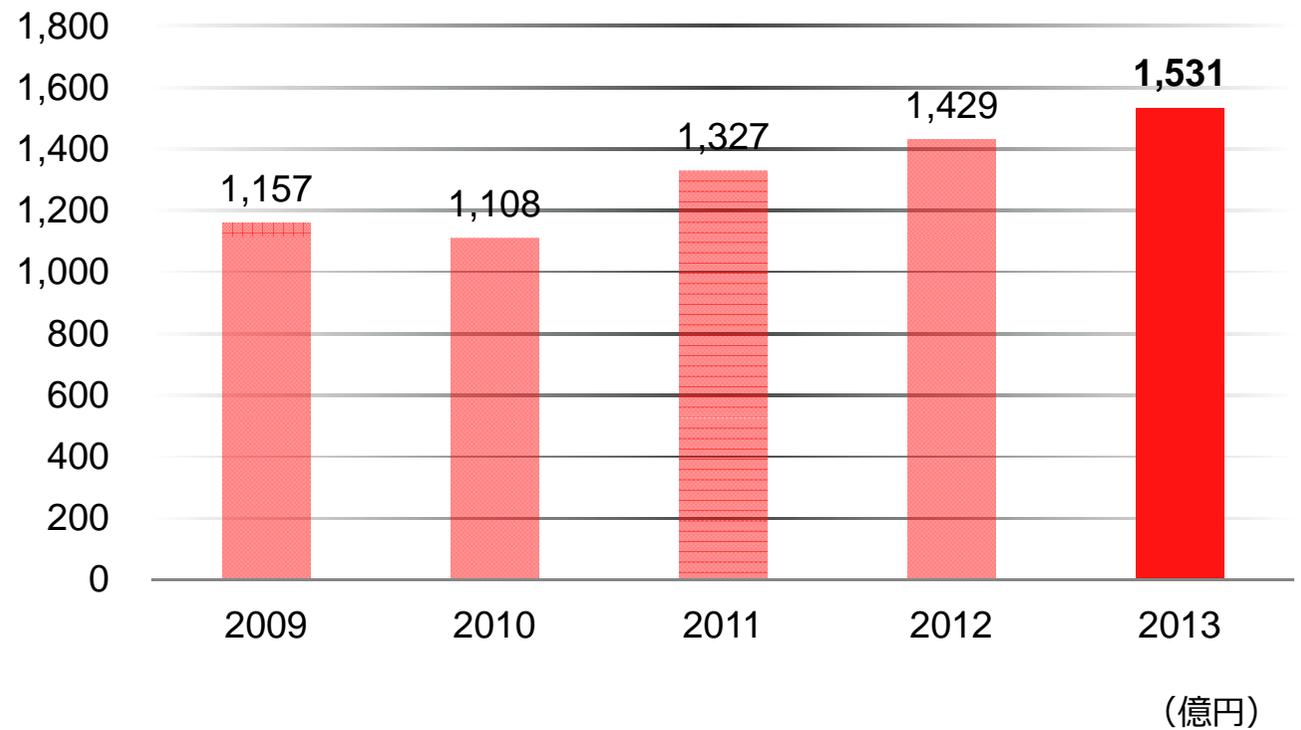
- 2013年5月期 業績概要
- 2014年5月期 業績予想
- 2014年5月期 方針

2013年5月期 業績概要

ORACLE

売上高

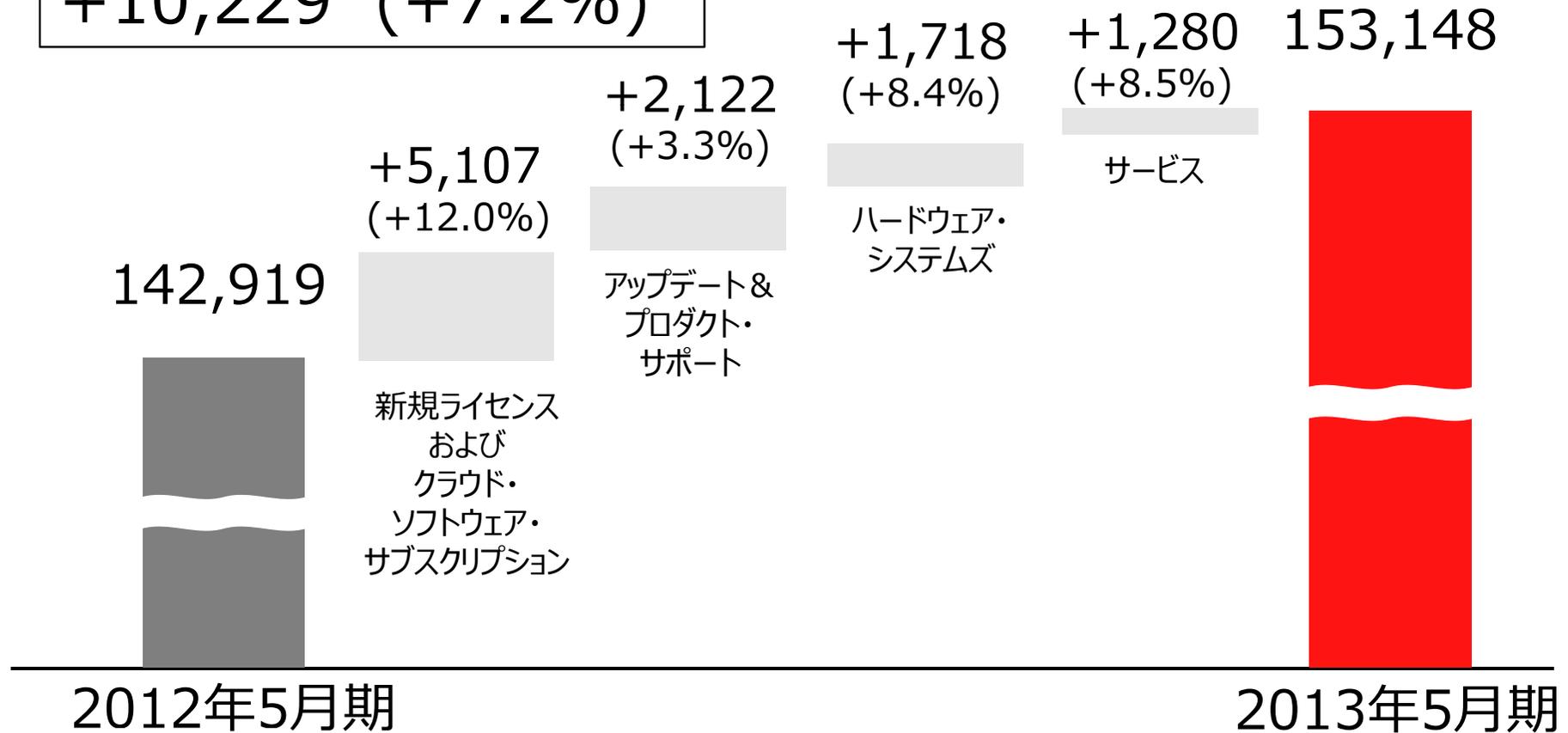
- 3期連続増収
- 過去最高の売上高



売上高対前年同期比

単位：百万円

+10,229 (+7.2%)



ORACLE

部門別売上高

単位：百万円

部門名		2013年5月期実績	前年比増減(%)	2012年5月期実績
	新規ライセンス	44,852	+7.3	41,792
	クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	2,707	+310.2	660
	新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション*	47,560	+12.0	42,452
	アップデート&プロダクト・サポート	67,109	+3.3	64,986
	ソフトウェア関連 小計	114,669	+6.7	107,439
	ハードウェア・システムズ・プロダクト	12,370	+11.9	11,053
	ハードウェア・システムズ・サポート	9,831	+4.3	9,430
	ハードウェア・システムズ 小計	22,202	+8.4	20,484
	サービス 小計	16,276	+8.5	14,995
	合 計	153,148	+7.2	142,919

*ソフトウェアをライセンス販売する形態に加え、クラウド・コンピューティング環境でサービス利用型として提供するサブスクリプション形態が徐々に増えていることから、セグメント名を従来の「ソフトウェア・ライセンス」から「新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」に変更し、セグメント内売上内訳の表示を「製品別」に代えて「提供形態別」といたしました。この変更は当セグメントの名称と売上内訳表示の変更であり、報告セグメントの変更はありません。従来区分での表示は次ページに掲載しております。

ORACLE

部門別売上高（従来区分での表示）

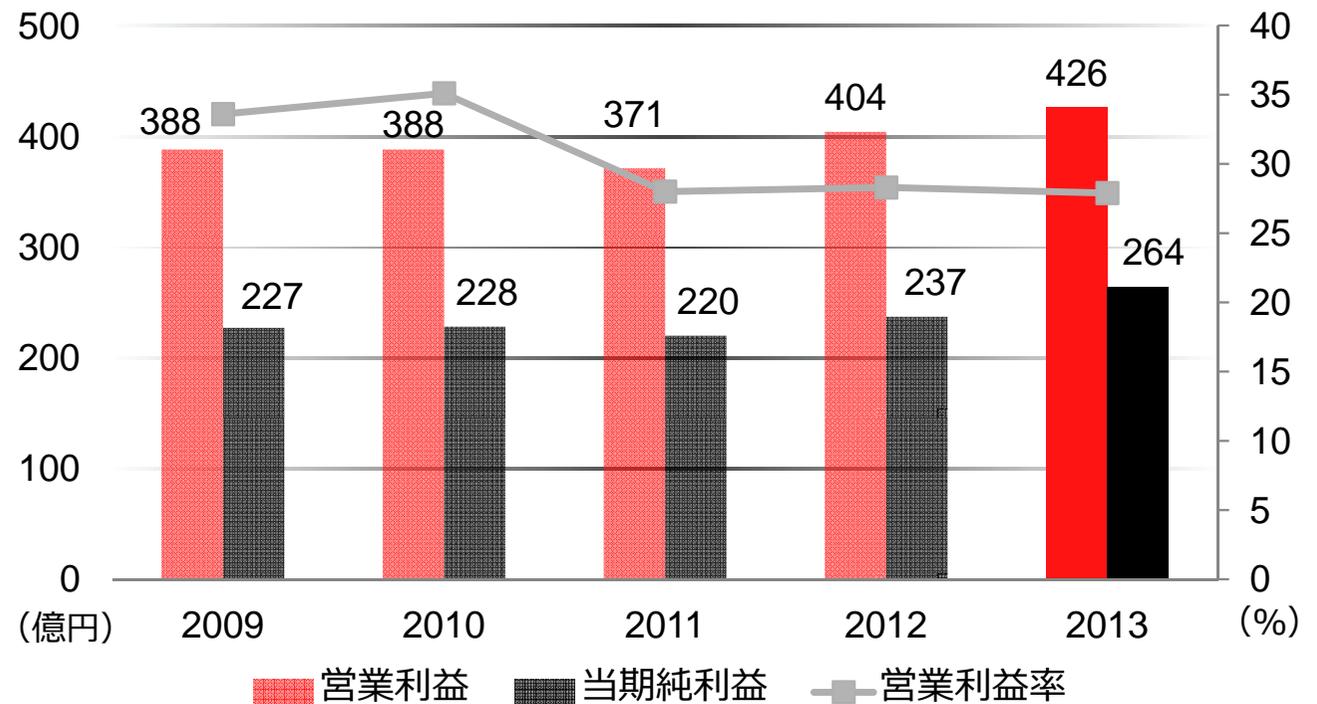
単位：百万円

部門名	2013年5月期実績	前年比増減(%)	2012年5月期実績
データベース&ミドルウェア	40,113	+6.8	37,551
アプリケーションズ	7,446	+51.9	4,900
ソフトウェア・ライセンス	47,560	+12.0	42,452
アップデート&プロダクト・サポート	67,109	+3.3	64,986
ソフトウェア関連 小計	114,669	+6.7	107,439
ハードウェア・システムズ・プロダクト	12,370	+11.9	11,053
ハードウェア・システムズ・サポート	9,831	+4.3	9,430
ハードウェア・システムズ 小計	22,202	+8.4	20,484
マネージド・クラウドサービス	4,373	+7.4	4,073
エデュケーション	1,524	-2.5	1,562
コンサルティング	10,378	+10.9	9,359
サービス 小計	16,276	+8.5	14,995
合 計	153,148	+7.2	142,919

ORACLE

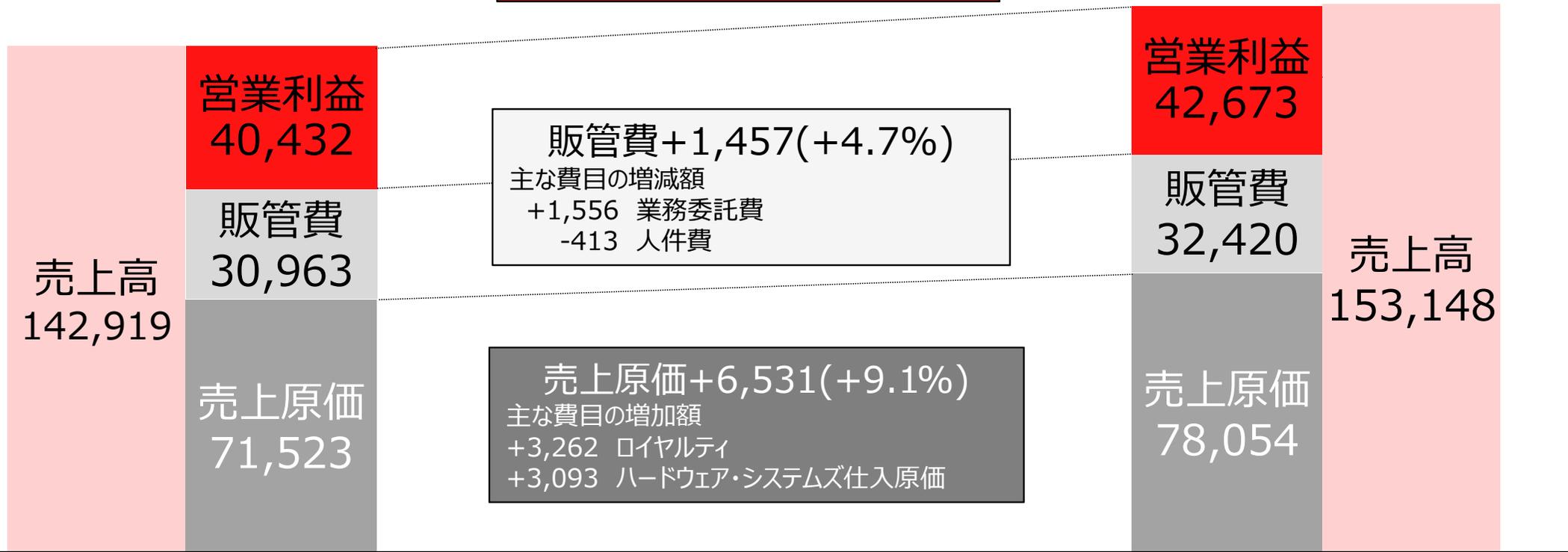
営業利益、当期純利益

- 2期連続増益
- 過去最高の営業利益、当期純利益



営業利益対前年同期比

営業利益+2,240(+5.5%)



2012年5月期

2013年5月期

単位：百万円

ORACLE

売上原価・販管費及び一般管理費

単位：百万円

	2013年5月期実績	前年比増減(%)	2012年5月期実績
売上原価	78,054	+9.1	71,523
ロイヤルティ	47,221	+7.4	43,959
ハードウェア・システムズ仕入原価	15,710	+24.5	12,617
人件費	10,665	-0.8	10,749
業務委託費	2,499	+8.9	2,294
賃借料	468	-5.6	496
販売費及び一般管理費	32,420	+4.7	30,963
人件費	19,600	-2.1	20,013
業務委託費	5,044	+44.6	3,488
広告宣伝費	1,522	-8.4	1,661
賃借料	937	+0.9	928
期末従業員数(OISからの出向者含)	2,497人	-89人	2,586人

ORACLE

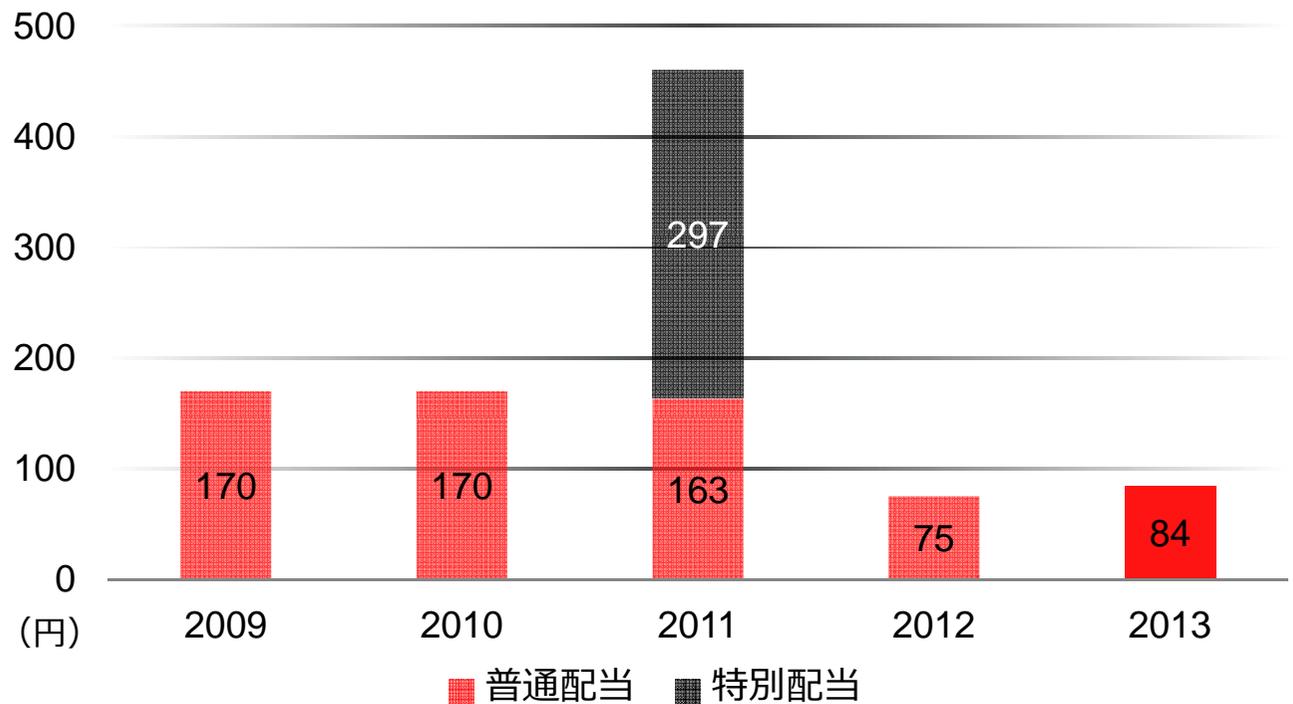
配当金

- 1株当たり期末配当金
84円

(1株当たり当期純利益：208.47円)

- 中間配当は実施して
おりません。

- 配当金支払開始日
(効力発生日)
2013年8月8日



2014年5月期 業績予想

ORACLE

業績予想

単位：百万円

	2014年5月期予想	前年比増減(%)	2013年5月期実績
売上高	165,500	+8.1	153,148
営業利益	46,800	+9.7	42,673
経常利益	46,900	+9.3	42,902
当期純利益	29,000	+9.5	26,494
1株当たり当期純利益	¥228.00	+¥19.53	¥208.47

ORACLE

部門別売上予想

単位：百万円

部門名		2014年5月期予想	前年比増減(%)	2013年5月期実績
	新規ライセンス	51,000	+13.7	44,852
	クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	4,100	+51.4	2,707
	新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	55,100	+15.9	47,560
	アップデート&プロダクト・サポート	69,400	+3.4	67,109
	ソフトウェア関連 小計	124,500	+8.6	114,669
	ハードウェア・システムズ・プロダクト	14,100	+14.0	12,370
	ハードウェア・システムズ・サポート	9,500	-3.4	9,831
	ハードウェア・システムズ 小計	23,600	+5.3	22,202
	サービス	17,400	+6.9	16,276
	合 計	165,500	+8.1	153,148

*当期よりサービスの内訳（マネージド・クラウドサービス、エデュケーション、コンサルティング）は非開示といたします。

ORACLE

営業経費予想

単位：百万円

	2014年5月期予想	前年比増減(%)	2013年5月期実績
営業経費総額	118,700	+7.4	110,475
ロイヤルティ	52,000	+10.1	47,221
ハードウェア・システムズ仕入原価	17,400	+10.8	15,710
人件費	32,500	+7.4	30,265
業務委託費	8,200	+8.7	7,544
広告宣伝費	1,500	-1.4	1,522
ファシリティ関連費*	3,350	-17.7	4,069

営業経費（売上原価ならびに販売費及び一般管理費の合計）を構成する主要科目の予想額を表示

*ファシリティ関連費は建物設備に関わる費用（減価償却費、賃借料、水道光熱費、消耗品費）の合計

ORACLE

配当予想

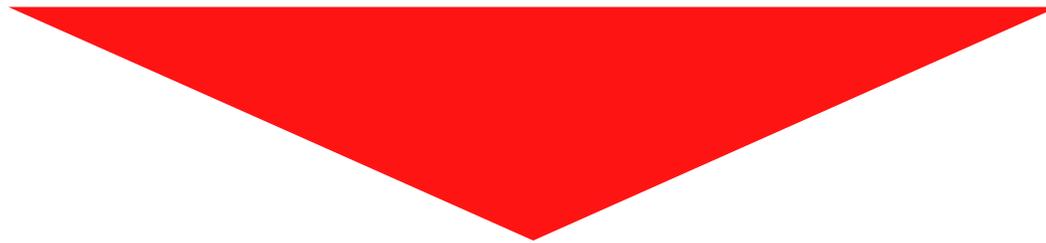
- 2014年5月期 1株当たり期末配当金： 92円
- 参考：当社の配当方針
 - 当社の事業計画に必要な資金需要、業績、キャッシュ・フローのバランスを総合的に勘案
 - 自己資本比率、株主資本利益率等の財務指標を妥当な水準に維持
 - 経営の自由度を確保しながら、安定的な配当の継続
 - 配当性向は40%を目指す
 - 事務コスト最小化のため、配当の実施は年1回（期末のみ）

2014年5月期方針

中期経営計画の基本方針

革新的な技術、製品、ソリューション、サービスの提供

- InnovationをもたらすGame ChangerとしてIT市場をリード
- お客様の変革を促し、企業価値向上に貢献



高成長・高収益性の実現

企業価値と株主価値の向上

中期経営計画の施策

成長戦略

ソリューション

プロダクト・
リーダーシップ

ビジネス
モデル

市場カバレッジと
営業力強化

経営基盤

事業体制

経営基盤強化

グローバル・アセット

ORACLE

中期計画の施策

2013年5月期の主なアチーブメント

成長戦略

- **エンジニアド・システムのビジネス拡大**
 - Exadata : 幅広い顧客層での採用、既存のお客様からのリピートオーダー、単一システムから複数システムを支える基盤システムのインフラとしての採用
 - ExalogicやExalytics等へも波及
- **SaaSビジネスの拡大**
- **SPARC T5/M5シリーズ投入**
- **Specialization認定パートナー様のさらなる増加**

経営基盤

- **オペレーションの効率化推進**
- **タレントマネジメント-人財の育成と強化**

オラクルの戦略

SIMPLIFY I.T.

完全・包括的な製品群

- ベスト・オブ・ブリード
- 垂直統合型システム
- 業種・業界特化型アプリケーション
- クラウド



お客様に選択肢を提供

- オン・プレミス
- プライベート・クラウド
- パブリック・クラウド
- ハイブリッド

ORACLE

新しいITの潮流

標準化・オープン化の大きな流れから「第3のITプラットフォーム」出現

メインフレーム

クライアント・サーバー

モバイル・
ソーシャル・クラウド

コンピューティング
モデル

集中型

分散型

集中&分散型

ネットワーク

専用線

インターネット
LAN

ブロードバンド
Wi-Fi

デバイス

端末

PC

スマートフォン
タブレット

システム用途

企業向け
(基幹系)

企業向け
(主に基幹系・情報系)

消費者向けを
企業向けに拡張

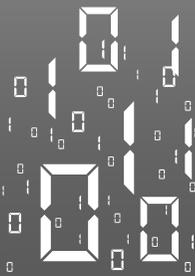
ORACLE

情報を分析・活用する力 = 競争力の源泉

第3のプラットフォーム = 企業と消費者の距離を劇的に短縮

ビッグデータ

非構造化データの
増加、利活用



モバイル (スマートフォン・タブレット)



- 2013年には最もインターネットにアクセスするデバイスに
- 社員の67%は仕事でモバイル端末を使用
- 消費者の2/3がモバイル端末から商品やサービスを購入

ソーシャル



- 2015年に年間300億ドルの市場規模に拡大
- 日本のSNS利用者数は5,000万人超。月50万人以上の増加
- Facebook2012年のユーザ純増数 日本は世界で第三位

クラウド



- 新規アプリケーションの80%はクラウドをターゲットに
- 国内クラウド市場は5年後に3倍に拡大

ORACLE

日本企業が直面する課題と対策

重要な4つの経営課題

◆ 持続的な成長

- 新市場の開拓
- より顧客ニーズをとらえた商品・サービスの開発
- M&Aなど

◆ 加速する新次元のグローバル化への対応

- 中国、インドなどから更なる成長市場へのシフト
- 各国の法律、規制、商習慣などに複合的に適応する必要性
- グローバルでビジネスプロセスを標準化、世界のビジネスを見える化
- 人材のグローバルでの再配置

◆ 経営管理とガバナンスの改革

- 成長戦略を実行するための経営管理の実現

◆ 留まる事のないITの進化とその活用

- ソーシャル、モバイル、クラウドコンピューティング、ビッグデータ...

IT活用の戦略的方向性

ITがビジネスモデルの変革を促進

- カスタマーエクスペリエンスの向上
- オムニチャネルで“個客アプローチ”を追求
- ビッグデータを活用してビジネス機会を発見

ITによるビジネスプロセス改革

- ITアプリケーションの開発期間の短縮
- 「作り込む」から「利用して効果を早く出す」モデルへの変革

運用コストを含めたITコスト削減

- 複雑化するIT環境をより単純化
- Private Cloudによるグループ共通基盤

ORACLE

2014年5月期の基本方針

1. Market Coverage強化

- 製品・業種別営業担当者の増員
- Oracle Directの営業強化
- お客様事業部門への価値訴求

2. すべての製品で高いシェア

- Product Specializationの深化
- パートナー様のSpecialization Programの推進継続
- クラウドビジネスの本格展開

3. Collaborationの促進

- ビジネスユニット、部門間協業の一層の促進
- 社内情報基盤の徹底活用

4. 顧客満足度の向上

- お客様との関係強化の継続
- Life Cycle Relationshipの強化

日本オラクルのブランド・バリュー

お客様のイノベーションを支えるビジネス・パートナーとなる

	Core	+ Next Opportunities
イメージ	テクノロジー イノベーター	ビジネス イノベーター
パートナー シップ	テクノロジー ベンダー	ビジネス パートナー
アプローチ	IT部門	事業部門 (LOB)

ORACLE



SIMPLIFY I.T.

POWER

ORACLE

INNOVATION

in

PRACTICE

(Screen Only)

Hardware and Software

ORACLE®

Engineered to Work Together

ORACLE®